

令和5年度  
(2023年) 北海道ファミリーホーム研究大会  
プログラム

2023年7月15(土)16日(日)

小樽市朝里川温泉 ホテル武蔵亭

主催:北海道ファミリーホーム協議会 後援:北海道・札幌市

受付:7月15日12:30~【ホテルロビー】⇒研修会場【2F コンベンションホール】

小樽水族館 13:00【ホテルロビー】集合出発~戻り【ホテルロビー】17:00 着

室内託児 13:00~17:00【別館302号】

【開会 13:00】 司会進行 中村 由美子(ファミリーホームみんなのおうち)

1. 主催者挨拶

北海道ファミリーホーム協議会

会長 長谷川 寛治

2. 講師・来賓紹介

北海道文教大学 人間科学部 こども発達学科

准教授 美馬 正和 様

北海道保健福祉部子ども政策局 子ども家庭支援課

係長 加賀 大賜 様

札幌市子ども未来局 児童相談所 地域連携課

係長 竹山 亮太 様

札幌市子ども未来局 児童相談所 家庭支援課

係長 赤倉 明洋 様

全国児童養護施設協議会

副会長 大場 信一 様

3. 来賓挨拶

北海道保健福祉部 子ども家庭支援課

係長 加賀 大賜 様

札幌市子ども未来局児童相談所 地域連携課

係長 竹山 亮太 様

全国児童養護施設協議会

副会長 大場 信一 様

4. 行政説明 【13:20~14:00】

・北海道保健福祉部 「北海道における社会的養育の現状と今後」

北海道保健福祉部 子ども家庭支援課 加賀係長 様

・札幌市児童相談所 「札幌市における社会的養護の現状」

札幌市児童相談所 地域連携課 竹山係長 様

5. 講演 【14:00~15:30】

「世界のフォスターケアはなぜ家庭養育中心か」

北海道文教大学 人間科学部 こども発達学科 准教授 美馬 正和 様

◆講師プロフィール◆

・1980.7.14 生れ

・所属:北海道文教大学 人間科学部 こども発達学科 准教授

・専門分野:保育・幼児教育、障がい児保育

・研究のキーワード:子ども理解、「気になる」子、質的研究

・主な著書:『保育実践と社会的養護』、『子どもと社会的養護の基本』、

## 5. ファミリーホーム懇談会【15:30～17:00】

○懇談テーマ(A)～(C)に分かれて進行役が進める。

(A):「ファミリーホームの注意点について」

- ・進行役: 藤江勇士(ファミリーホーム プレイズ)
- ・コメンテータ: 長谷川寛治(ファミリーホームはせがわ)

(B):「子どもの課題事例」

- ・進行役: 山田大地(ファミリーホーム スミールヒュース)
- ・コメンテータ: 古家好恵(社会福祉法人麦の子会)

(C):「養育に求められる支援」

- ・進行役: 中兼正次(ファミリーホーム フリフリ)
- ・コメンテータ: 大場信一(社会福祉法人北翔会)

—1 日目終了—

《宿泊の方はチェックインをして下さい》

## 【交流会】【18:00～20:00】 3F 芭蕉の間

○司会: 岩松 弘毅 (ベテスタホーム)

### 【7月16日】

#### 1. 講演【9:00～10:40】会場 3F 芭蕉の間

「課題の多い子ども達の現状について」—児童自立支援施設の子ども達—  
北海道中央児童相談所 所長 赤坂秀彦 様

#### 2. ファミリーホーム見学会【11:10～12:30】

ファミリーホームおたるの家(養育者:狩野剛志・紗季)

住所:小樽市幸3丁目29-3

※ホテル武蔵亭からホームまでは車で20分程です。

近くには有名な「幸会館」があります。

#### 《関係連絡先》

- ・会長 長谷川寛治(ファミリーホームはせがわ)～090-3775-2724
- ・事務局長 竹内 透(ガブリエルホーム)～090-8906-9650
- ・託児リーダー 下川陽子(ミモザ)～090-7647-2797

◆ご講演をお願いした訳は？◆

ファミリーホームの日常は忙しい。子ども達の学校のこと、病院のこと、生活のこと、支援に関わること、ホーム運営のこと・・・多忙な毎日が過ぎ去っていく。

そうした中で「子どもが生まれ育つには**家庭**が必要との想い」はますます強くなってきた。

一方、家庭養護を柱とする社会的養護が法制化されたにもかかわらず、家庭養護を支える体制の整備は遅々として進まず、欧州など世界との格差を見るたびにその理由を探し求めていました。

そうした矢先に美馬先生のレポート「日本の社会的養護とホスピタリズムの動向」が目にとまり、特に「おわりに」にあります「ようやく日本においても永続的な親機能を基底とした家庭養護への転換を目指した、本格的な社会的養護の展開が始まるのである」というフレーズにひかれて、是非ともお話をお聞きしたいと思いこの度の講演をお願いしたところでは

(長谷川)